令和８年１０月２６日

町長への手紙回答

【件名】

小中一貫校化の『見通し』及び学校運営協議会との情報共有に関する質問

【手紙の内容】

町が進めている小中一貫校化につきまして、令和７年度第１回小山町総合教育会議の資料「今後の進め方」において、「小山中・北郷中学校区のＲ８年度からの見通し」として『一貫教育を進めながら「一体型」への見通しも模索する。併せて、小中の別々の学校運営協議会のあり方の検討に入る』との方針が明記されています。

特に小山中学校区においては、１中学校と３小学校（成美・明倫・足柄）による４校連携の分離型一貫教育を模索しつつ、さらにその先を見据えた議論が必要になる重大な転換点であると認識しております。しかしながら、令和８年度も後半に入った現時点におきましても、学校運営協議会の現場においては、町が上記のような見通しや検討方針を持っていること自体が共有されていない状況にあります。

これまでの地域説明会においては、教育長より「少なくとも５年や 10 年は現在の（分離型の）体制が維持される」旨のご説明があり、地域としてもそれを前提に学校支援や地域づくりのあり方を考えていくものと思っておりました。そのような中、公式資料において急遽「一体型の模索」という方針が示されたことに対し、困惑と戸惑いを感じております。

つきましては、今後地域と行政が手を取り合って持続可能な学校づくりを進めていくため、以下の点について町および教育委員会の公式なご見解を伺わせてください。

１.「一体型への見通しの模索」の具体意図とスケジュール感について

総合教育会議資料に示された「一体型への見通しを模索する」とは、具体的にどのような状況（児童数の推移、施設の状況等）やタイムスケジュールを想定されているのでしょうか。

現時点で町が描いているイメージや検討の枠組みについてお聞かせください。

２.これまでの地域説明会での説明との整合性について

地域説明会において「５年、10 年は現在の体制を維持する」と説明されてきたことと、今回示された「一体型の模索」との整合性について、どのように捉えればよろしいでしょうか（10 年後を見据えた活動を開始するという意味？）。地域住民が誤解や不信感を抱かないよう、明確な位置づけをご説明ください。

３.学校運営協議会（CS）への期待と今後の情報共有体制について

町としては、具体的にどのような議論や「模索」を学校運営協議会などの場で進めてほしいと考えていらっしゃいますでしょうか。また、こうした重大な方針や見通しについて、今後どのように学校運営協議会へタイムリーに情報共有し、協議の場を設けていくお考えか、具体なプロセスをお聞かせください。

【回答】
この度は、貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

１　「一体型への見通しの模索」の具体的意図とスケジュール感について
小山中学校区及び北郷中学校区につきましては、令和９年度から「分離型小中一貫校」とし、当面は現在の学校配置を維持しながら、一貫教育の充実を図っていく考えです。
総合教育会議資料における「一体型への見通しも模索する」との表現は、「一体型への移行を決定した」という意味ではなく、今後の少子化の進行や学校施設の状況等を見据え、中長期的な教育環境のあり方について研究・検討を行うという意味になります。
現時点で一体型校への移行時期や施設整備計画等の具体的なスケジュールは決定しておりません。町の施策で明倫地区に整備中の「ヴィラすがさか」による効果なども期待される中、今後の児童生徒数の推移、学校施設の状況、教育効果、地域の皆様の御意見等を総合的に勘案しながら検討していきます。

２ これまでの地域説明会での説明との整合性について
小山中校区の地域説明会では、「少なくとも５年から 10 年程度は現在の分離型の体制を基盤に進めていく」という趣旨で説明しました。これは、地域や保護者が安心して学校づくりや地域活動に取り組めるよう、当面の方向性を示したものです。
一方で、総合教育会議で示した「一体型への見通しの模索」は、その先の将来的な可能性も視野に入れ、研究・検討をしていくという考え方です。したがって、
・当面は分離型小中一貫校として教育内容の充実を図る。
・将来的な教育環境の変化に備え、一体型の可能性についても検討していく。
という二つの考え方は矛盾するものではなく、時間軸の異なる議論として御理解いただきたいと考えております。

３ 学校運営協議会への期待と今後の情報共有体制について
学校運営協議会は、学校と地域が協働して学校づくりを進めるための重要な仕組みであり、町としても今後の小中一貫教育の推進において積極的な関わりを期待しております。
特に小山中学校区においては、
・地域資源や地域人材をどのように教育活動へ生かすか
・４校による小中一貫教育をどのように充実させるか
・小学校同士の連携をどのように充実させるか
・将来的な学校のあり方について地域としてどのような考えを持つか
等の視点について、今後、学校運営協議会の熟議の中で協議を深めていただきたいと考えております。単に「一体型」を進めるための話合いではなく、まずは、４校それぞれの教育活動の充実を目指し、その中で小中一貫教育・連携を深めていくにはどうしていくかという協議がなされるとありがたく思います。
また、それぞれの学校運営協議会で協議を重ねる中で、例えば「４校合同の学校運営協議会開催」等の必要性や要望があれば、教育委員会としましても、できる限りタイムリーな情報共有と併せ支援できるところはしていきたいと考えております。